Osaka University Knowledge Archive

Title	大学１回生における対人不安の状態および大学の望ましい対策
Author(s)	髙木, 奎吾
Citation	令和元（2019）年度学部学生による自主研究奨励事業研究成果報告書. 2020
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75961
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

インタビューまとめ

No.1（1， 6）

① 小学校６年から
② 学年一人だったが、小学校の合併により突然大人数と関わるようになったから。
③ 深刻化した
④ より多くのひとに囲まれ、自らの振る舞いを正す意識が強まった。それとともに、他人の評価が、より気になる。また、高校が男子校だったため、女性からの嫌悪について敏感になっている。
⑤ オリエンテーション（入学当初のような）が、定期的に開催されるとよい。
⑥ ５
⑦ 高校は、具体的な教科に分かれているので、自分の得意不得意が明瞭だった。

No.2（1， 6）

① 大学入学以前から
② 微妙な関係（例：友達の友達）などとの接し方がわからない
③ 深刻化した
④ 大学に入り、周りの人が増え、“微妙な関係”の人が増加した
⑤ オリエンテーションや人間科学部内のイベント。また、部活の新歓期の先輩との食事。
⑥ ４， ５
⑦ 周囲の人数が増え、関係が浅くなり、周囲からの評価を気にしなくなった

No.3（現状：２）

① 大学入学後
② 学外の活動において、他人と自分を比較し、劣等感を感じる。
③ 変化なし
④ なし
⑤ 人科祭。周囲との協力や自他の活躍により、不安が改善された。
⑥ １， ２
⑦ 以前は、多くの人との関係を重視ししていた。しかし入学後、苦手な人との付き合いはあきらめ、素直な自分を受け入れてくれる人とだけ関わるようになった

No.4 （6）

① 物心ついたころから
② 気を遣える人間になりたいから。また、後輩の指導においてのトラブルも原因。
③ 変化なし
④ なし
⑤ 上回生からの指摘で、自らを客観視できるようになった。
⑥ ５
⑦ 大学に入って、自由になり、欠点を気にしなくなった。

No.5（1、6、１０、１２）

① もともと

インタビューまとめ

② １．高校の部活動で、部長を務めていたこと。多少の批判は覚悟していた。
　１０．友人から気にしすぎだと指摘されてから。
　１２．気の置けない仲だと気にならない。
③ 変化なし
④ なし
⑤ 嘘でもいいので、周りから信頼の言葉が欲しかった。
⑥ なし
⑦ なし

No.6（1，２，６，１０）
① 日本に移住したころから。
② 15 歳までは人間関係を姉に頼っていた。日本では、姉がいない中で、表面的な付き合いが多くなった。「転勤族」でもあったため、深い仲を築こうとしなかった。
③ 改善された。
④ 大学は、誰しもが初めて会う環境であるから。また、オープンキャンパスで接した人と今も仲良くできているため。
⑤ 教職員からのサポートは不自然である。過去に教師に会話を促され、あまりいい印象を持てなかった経験がある。また、大きな食事会も、同じテーブルを囲んだ人としか会話しないため、中規模（クラス規模）の交流会が望ましい。
⑥ １，２
⑦ 大学生活が進むにつれ、見知った顔が増えたため。
表面的な関係について、合わない人との間では肯定的にとらえている。深い仲の友人は数人で十分だと考えているため。

No.7（1，２，１０）
① もともとの性格
② 大学入学以前は、広く浅い友人関係に対して、不安があった。
③ 不安要素は変わっていないが、不安の程度は減った。
④ 気の合う友人ができたこと。また、一人の状況に対して、孤独感が高校より薄れたこと。
⑤ 人間科学部の新歓隊がした催しで十分。
⑥ ４
⑦ 他人からの目を気にしなくなったこと。

No.8（1，１０）
① 中学生のころから
② 優等生を演じるようになったこと。
③ ほとんどなくなった。
④ 猫をかぶることをしなくなり、素でいられる友人もできたから。
⑤ なし
⑥ ５
⑦ 完璧でいたいという性格が少し和らいだこと。

インタビューまとめ

No.9（７）
①　中学生のころから
②　部活動が始まり、よく会う仲間が増えたこと。
③　強まった。
④　あまり会う機会を持たない人との交流が多くなったから。
⑤　入学時のオリエンテーションは、不要だった。友達ほど深い仲になれなかったために、相手と気まずくなったから。
⑥　３
⑦　親密にならない人が増え、その人たちからの評価を気にしなくなったから。

No.10（なし）
①　なし
②　なし
③　なし
④　なし
⑤　なし
⑥　８
⑦　グループワークが増えるなどして、いろいろな人と接する機会が増え、自分に対する評価をいちいち気にしていたらやってられないと思ったから。